

平成 30 年第 1 回定例会総体質問通告事項

<p>3 月 8 日 午 前</p>	<p>田 頭 敬 康 議 員 ( 創 生 会 ) 質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式</p> <p>1 総合計画に基づくまちづくりについて  (1)尾道市総合計画のタイトルに日本遺産を加え、「元気あふれ人がつながり 安心して暮らせる誇れる日本遺産のまち尾道」のまちづくりとして使ってはどうか  (2)総合計画に伴う 10 力年の概ねの予算総額と予算執行が地域経済に及ぼす経済効果は概ねいくらか</p> <p>2 尾道市の予算と国の予算、地方財政計画との関連等について  (1)尾道市の市税が地方財政計画の地方税 0.9%の伸びを大幅に上回っている理由は  (2)地方交付税について、国の予算や地方財政計画に比べて大幅に減っている理由は  (3)平成 30 年度の予算編成の中で、どのように歳出改革の徹底をされたのか  (4)この度の予算編成の中で、どのように人口推計と財政推計をリンクさせて政策を立案、予算編成をされたのか  (5)将来的、長期的にはどのように経常収支比率の改善展望を持っておられるのか  (6)将来の人口減少を前提条件として捉え経済が低迷した時のことを考えて、将来に備える考え方について</p> <p>3 心豊かな人材を育むまちづくりの中学校デリバリー給食事業について  (1)中学校給食は学校給食法に基づいて実施されるものであり、小学校と同様中学校においても全員喫食として完全実施されるべきものだと思うがどうか  (2)隣の福山市が実施する小学校から中学校へ給食を運ぶ親子方式の取り組みの考え方や法的整備解釈についてわかる範囲で教えて頂きたい  (3)中学校給食の完全実施には自校方式、共同調理場方式、デリバリー方式を問わず、それぞれの学校のおかれている状況から判断して併用方式を採用すればいいと思うがどうか</p>
--	--

#### 4 安心して暮らせるまちづくりについて

- (1)尾道市高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画について
  - ア 尾道市高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画と前期計画との違いはどうか
  - イ 尾道市高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業の中で、「住みなれた地域で元気で生き生きと暮らせるよう計画を策定するものである」とありますが、これはどういう考えか
  - ウ またこの計画の進むべき方向性の中で、「幸齢社会の実現を図るとともに介護保険制度の持続性を高め 市民負担を抑制します」ということについても具体的にどのような意味なのか
  - エ この計画策定にあたって市民の皆様からのパブリックコメントを募集されたと思いますが、どのような意見があったのか
  - オ この計画策定を通して今後これから10年後あるいは将来の介護保険制度のあり方をどのように見通しておられるのか
- (2)旧尾道市内にもりハビリプールを建設してはどうか

#### 5 東尾道地域のまちづくりについて

- (1)東尾道地域のまちづくりについての市長の考え方について
- (2)東部公民館の改築についてのお考えをお聞かせください
- (3)東尾道駅舎へのエレベーター設置について
  - ア 駅舎についての国のバリアフリー化する方針と東尾道駅の1日の利用人数、さらに尾道市のJR西日本への取り組みについて
  - イ 早期にエレベーター設置を